2007年11月1日作成(新様式第１版)

製造販売届出番号　20B2X00014000021

器１７　血液検査用器具
一般医療機器　検体前処理装置　JMDNｺｰﾄﾞ38757000

特定保守管理医療機器

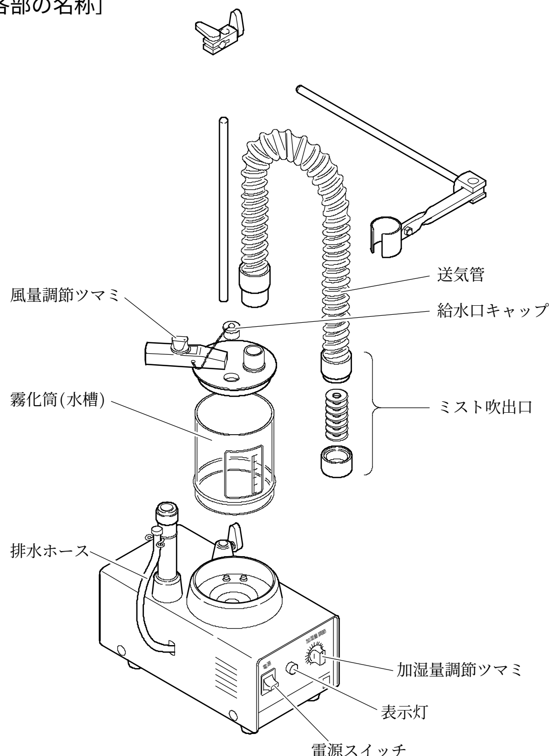
# サクラ 標本ブロック加湿器

ＥＭＣ適合

【警告】
・装置を分解・改造しない。
・装置本体を濡らさない。
・スイッチ類を、ぬれた手で操作しない。
・電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない。
・電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行なう。
・電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

【禁忌・禁止】
・本品を目的以外の利用には供しない。（例えば、ネブライザーとして使用しない。）
・水量目盛の350mL以上は給水しない。
・蒸留水や井戸水は使用しない。
・60℃以上の熱湯は使用しない。
・霧化筒周辺の清掃には、洗剤・磨き粉・有機溶剤等は使用しない。
・霧化筒に付いているパッキンを傷つけない。
・霧化筒に水が入ったままで、装置を持ち運ばない。

【形状・構造及び原理等】
［各部の名称］




【作動・動作原理】霧化筒底部に配置された超音波加湿ユニットにより、霧化筒に入れた水を霧化する。発生したミストは送気により送気管を通ってパラフィンブロックに当てられる。

【使用目的、効能又は効果】

検体前処理装置
病理組織標本作成の薄切工程において、パラフィンブロックにミスト（霧）を当てて静電気を防止することで、薄切切片を取りやすくする装置。

【品目仕様等】
型式：ＳＭＢ-１
本体寸法：130(W)×250(D)×250(H) mm（送気管部含まず）
霧化能力：0～3mL/min
超音波周波数：1625～1740kHz
本体質量：約4.5Kg

【操作方法又は使用方法等】
［必要とする設備］
電圧：AC100V ±10%
周波数：50/60Hz
容量：1.0A 以上
接地端子：Ｄ種以上
消費電力：50VA

［操作方法］
以下の手順の詳細は取扱説明書をご参照ください。
① 霧化筒に水道水を入れる。
② 電源スイッチを入れる。
③ 薄切作業に適当なミストが出るように、加湿調節ツマミを回す。
④ ミスト吹き出し口の位置決めをする。
⑤ 送風量を調節する。
⑥ 加湿量を調節する。
⑦ 使用が終了したら電源スイッチを切り、霧化筒内の水を排水する。

【使用上の注意】
・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行うこと。
・他の機器と同一のコンセントを使用した場合、電圧降下により加湿量の変動をまねく原因となる可能性があるため注意する。
・装置周辺には適切なスペースを設ける。
・装置は水平で丈夫な台の上に置く。
・直射日光の当たる場所や、火気の近くには設置しない。
・風の影響を受けないところへ設置する。
・水は霧化筒（水槽）に貼付されている水量目盛範囲内で使用する。
・クランプレバーは必要以上に強く締め付けない。
・霧化筒を取り付けるときはパッキンに水を湿してねじり込むように確実に取り付ける事。
・お手入れの際は電源を切る。
・動作異常時は電源を切る。

取扱説明書を必ずご参照ください。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

［設置環境］

・温度　　10～40℃
・湿度　　30～85%RH（結露なきこと）
・大気圧　70～106kPa
・チリ・ホコリが少なく、振動の少ない所に、水平でガタツキの無いように設置する。

［耐用期間］

耐用期間：製造出荷後　６年
条　　件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を必要に応じ交換すること。
保守部品として供給される主要な構成部品は下表の通り。

| 主要な構成部品名 | 使用耐用年数 |
|---|---|
| 超音波加湿ユニット | ６年 |
| 制御基板 | ５年 |
| ファンモータ | ６年 |

※ ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

## 【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書の「お手入れのしかた」をご参照ください。

［使用者による保守点検事項］

・ 水の交換
　水は毎日交換する。
　蒸留水は空焚防止器作動不良の原因となるので使用しない。
　井戸水などは、水垢の発生などの可能性があるため、水道水を使用する。
　長期間使用しない場合は、排水ホースを用いて、水を排出し、水分を拭き取っておく。

・ ろ紙
　ミスト吹き出し口の内部に、水滴落下防止用のろ紙が7枚入っているので、作業終了後ろ紙を取り外し、次の使用に備えて十分に乾燥させる。
　ろ紙の汚れが目立ってきたら、交換する。

・ 霧化筒
　水を排水した状態で、霧化筒蓋、霧化筒の順に本体から外し、水位電極棒も含めた周囲を柔らかい布などで清掃する。
　振動子は、傷つけないように注意する。

・ 背面吸気部のフィルター
　本体背面のフィルターに付いたほこりは、掃除機などで吸い取る。

［業者による保守点検事項］

・ 背面吸気部のフィルター
　汚れがひどい場合は分解清掃を行う。

## 【包装】　１台

## 【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者
名　　称：サクラ精機株式会社
住　　所：長野県千曲市大字八幡1122-8
電話番号：026-272-8381

製造業者
名　　称：サクラ精機株式会社　長野本社工場
住　　所：長野県千曲市大字鋳物師屋75-5
電話番号：026-272-2381

販売業者
名　　称：サクラファインテックジャパン株式会社
住　　所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5638-1335 （営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：０１２０-３９２-８７４
（フリーダイヤル）